

令和6年度第3回相模原高等学校学校運営協議会 議事録

期日 令和7年3月13日(木) 15時30分～17時00分

場所 神奈川県立相模原高等学校 会議室

出席 石井委員、伊藤委員、河西委員、片野委員、平岩委員、眞柄委員、田代校長
木村副校長、千葉教頭、岩滝総括、諸岡総括、中西総括、荻野総括、神野総括、
藤野総括

欠席 鳥海事務長

1. 開会

副校長 挨拶

2. 校長あいさつ・生徒の活動について

・県相生の部活動等活躍状況について説明。

3. 第59期卒業生進路状況

(委員) 進路実績が上昇した要因は何か。→ 59期生は素直な生徒が多く、学校の話をよく聞いていた。学部学科研究、大学模擬授業を1年時より行い、先手のアプローチを仕掛けた。今年度初めて出願指導検討会を2日間開催し、その結果を担当より生徒にフィードバックした。また数学の講師を招いて難関国公立大学の答案作成指導を行った。当初1度だけの予定であったが、生徒のリクエストでもう一度お越しいただいた。

(委員) 予備校講師を呼ぶのは授業内か。→ 放課後に行っている。

(委員) 58期の時の指導から改善させた点はどこか。→ 学校の授業を最後まで受けている生徒がやはり成果をあげているので、予備校の指導(学校よりも予備校の授業を優先するといった指導)を理解して先手を打った。

4. 学校評価報告書意見聴取

○ 生活Gについて

(委員) 生徒の困り感というのはどんな内容なのか。→ 学習面だけでなく、家庭内の問題や、本人の特性についてもある。

(委員) 子どもサポートドックの回数は。→ 年2回である。

(委員) 担任面談の時間を確保するという事は、授業時間の短縮しかないが、そうしてでも子どもたちと話す時間は貴重である。

(委員) どこまで先生方がかかわるのか、目安はあるのか。→ 最初は担任がかかわっていく。S C・S S Wとも連携しケースによって外部のかかわりを入れるかを決めていく。

(委員) 子どもサポートドックで上がる案件とともに、進路サポートもよろしく願いしたい。

○ 生徒会Gについて

(委員) PTA による生徒アンケートでは文化祭 1 日目より 2 日目のほうが規制が厳しくなったとの意見があった。→ 1 日目に違反していたので注意をただけである。注意を取り違えているのではないかと思う。

(委員) どうしてその部活動に入ったかについてアンケートを取ってみると、部員が少ない部活動に対する方策が見えるのではないか。体育祭の衣装について既製品を使うことはよいと思う。

○ 学習Gについて

(委員) 県相人材バンクの取組は重要である。学習、キャリア・進路指導等いろいろ大切である。SSHのみならず、範囲を広げていくとよいと思う。

(委員) 生徒による授業評価の方法は。→ すべての科目ごとにアンケートを取っている。

(委員) 生徒による授業評価と学校生活の相関関係はいかがか。また高大「接続」については、大学全体にかかわるので時間がかかる取組である。→ このアンケートは授業だけだが、生活Gがアンケートを取っている。卒業時に県のアンケートがある。それらを比較すると出せるかもしれない。

○ キャリアGについて

(委員) キャリア行事のブラッシュアップ、特に県相先輩セミナーを伝統化していつていただきたい。

(委員) 上位層には手厚く指導されているが、中間層や伸び悩んでいる生徒への指導はどうか。→ 特にイベントについては、用意はしていない。教員が把握して個別に適切な指導を行っている。

(委員) キャリアプランはどこまで含まれているのか。大学受験だけか。→ 大学入学や、その先の就職を見通したものも含めている。自分の得意なところを振り返って、自分が成長したという実感を持てるようにすると、より目標に向けて頑張れるのではないかと考えている。

○ 総務Gについて

(委員) 書道部が地域のイベントで活躍してくれた。高校生が地域行事に参加すると大変喜ばれる。機会があればぜひ参加していただきたい。

(委員) 緊急時、高校生は避難所の支援者になることを求められると思う。ぜひこの点について教える時間を設定してほしい。

○ 学務Gについて

(委員) 先生方の負担を減らすことはどんどん進めてほしい。